

平成30年度に初期支援コースが開設されて、6年目になりました。今年度も、多くの方々に外国人児童生徒教育について知っていただくために、初期支援コース通信を発行します。初期支援コースの子どもたちの学びの様子や指導実践、外国人児童生徒指導・支援のヒントなど、様々な情報をお伝えしていきたいと思っています。

令和4年度の初期支援コース報告

令和4年度の前半は、コロナ禍の入国制限が続いている状況で、新たな編入は多くありませんでした。後半は入国制限が緩和され編入が増え、特にフィリピン人児童生徒が急増しました。ガイダンスでは「父や母はコロナ前に来日し、子どもをもっと早くに日本に呼び寄せるつもりでいたが、入国制限で難しかった。何度もビザの申請をした。ようやく家族一緒に暮らすことができ、嬉しい。」という話を何度も聞きました。

令和4年度の通級児童生徒数のまとめをご報告します。「きぼう」が開設された令和2年度は、3コース合わせて**57人**が通級しました。令和4年度は、**95人**でした。コロナ禍以前の状況が戻って来たと感じています。

	「きぼう」小学校コース	「みらい東・西」中学校コース
通級児童生徒数	47名	48名
国籍	ブラジル、フィリピン、ボリビア、ペルー、中国、パキスタン	ブラジル、フィリピン、中国、ネパール、パキスタン
在籍校	18校 : 国際教室設置校14校/未設置校4校	8校 : 国際教室設置校8校

また、令和2年度～4年度に「みらい東・西」に通級した中学生の進路状況もご報告します。コロナ禍での帰国や市外転出が多く、令和4年度の中3生は比較的初期段階の生徒が少なかった印象です。

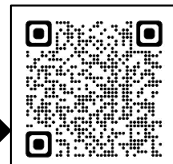
		令和2年度に中1に編入	令和3年度に中2に編入	令和4年度に中3に編入
全日制	公立	2名 (内外国人入学者選抜2名)	3名 (内外国人入学者選抜3名)	—
	私立	—	—	—
定時制	昼間	3名	3名	—
	夜間	3名	2名	1名
その他		家事手伝い 2名	—	サポート校 1名
合計		10名	8名	2名

令和5年度の初期支援コース

今年度から「みらい西」(羽田中)に市内の南西部地域の小学生が通級できるようになりました。既に福岡小、牟呂小、磯辺小、栄小の児童が「みらい西」に通っています。南西部地域では、今まで「きぼう」(岩西小)への遠距離の通級が、経済面でも安全面でも課題になっていましたが、羽田中の小学生コース開設で、通級の負担は随分緩和されました。ちなみに「みらい西」の小学生4名は、全員が保護者や知人の送迎で通級しています。

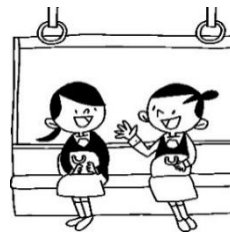
また、今年度から小学生コースでは、今までの6週間(隔週金曜日に在籍校登校)から、8週間(毎週金曜日に在籍校登校)になりました。指導期間が2週間伸び、同時にソフトランディングのための在籍校登校の回数が増えました。コロナ禍の母国の教育事情から、長い間対面授業がなかったという児童が多く、日本語だけでなく集団生活への適応にも、今まで以上の支援と時間が必要となっており、そうした新たな課題に対応するためです。

さて、こうした新しい変革と共に、今まで蓄積してきた指導のノウハウも、学校にお伝えしています。豊橋市教育委員会の「外国人児童生徒教育資料」のHPには、日本語リソースルーム(市役所11階 Tel:51-2077)で閲覧や貸出しが可能な初期支援コースの教材を紹介しています。



「みらい東」(豊岡中学校)の実践紹介～校外学習編～

みらい東は今年度から総合の授業に倣う形で、通級期間中に校外学習を体験するカリキュラムを組み入れることにしました。4月に「①電車の乗り方や切符の買い方など基本的な生活情報を知る。②行政の働きや利用できる公共サービスを知る。③公共の場での態度を学ぶ。」の3点を目的として、豊橋駅、豊橋まちなか図書館、豊橋国際交流協会の3か所を訪問しました。今回は、その一連の活動をご紹介します。



1. 事前指導: 緊急時の対応や公共交通機関の利用方法を確認しました。このとき、生徒から「雨でも行きますか。」という質問が出ました。出身国によっては、通学路の状態が悪く、雨の時は学校が休みという所もあります。学校行事は、基本的に体育祭を除けば雨天決行が多いことを説明できる良いきっかけになりました。

2. 当日の動き: 当日は朝から雨が降っていましたが、11人のうち、9人が参加することができました。



市電にて

足元が悪い中、「運動公園前」で電車を待ちました。待っている間でも、「点字ブロックは踏まない」、「1列に並ぶ」など、公共の場でのマナーや右図の電光掲示の読み方の確認をしたりしました。あらゆるものが子どもたちにとって新しい経験で、良い教材になりました。

豊橋駅にて

豊橋駅に到着し、切符の買い方やタッチパネル式の電子案内版の使用方法を確認しました。また、よく修学旅行の集合場所にもなるコンコースの場所を確認することで、在籍校での現地集合にも対応できるようにしました。



豊橋まちなか図書館、国際交流協会にて

豊橋駅から徒歩でemCAMPUS内にある図書館と国際交流協会へ行きました。図書館では、スタッフの増田さんから図書館の使い方の説明を受け、館内の案内をしていただきました。国際交流協会では、ポルトガル語とタガログ語の通訳を介し、協会が提供している情報やサービス、開設している日本語教室などを教えていただくことができました。

3. 事後指導: 学校に到着後、公共の場でのマナーや時間を守れたかなど、写真を使って振り返りをしました。後日、3チーム(豊橋駅、まちなか図書館、国際交流協会)で施設のまとめやお礼状の書き方を学習しました。

校外学習のまとめ(左図)とお礼状(右図)

レクリエーションの時間を使って、母語でまとめのポスターを作成しました。生徒同士で話し合い、関わり合いながら作り上げていくことができました。

